

ご挨拶

お茶の水女子大学ではこの度音楽表現コースが中心となり、平成 25 年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」助成事業「ナレッジマネジメント力を核とするアートマネジメントスタッフの育成」を実施致します。

本コースは、「音楽学部でも教育学部でもなく、音楽を総合大学の中で専門課程として学べる」コースとして皆様に認知されておりますが、この事業でもそうしたコースの特徴を反映して、実学的ノウハウ中心なカリキュラムから発展させ、「知の様々な領域に響きあうナレッジマネジメント力」を持つ柔軟性と応用力に富んだ人材育成を目指しております。その為に、「現場の縮図」とも言うべき、多岐に亘るプログラムを用意しました。

アートマネジメント業界に関心をお持ちの方々はもとより、既に様々な現場で活動中の方々にも、必ずや新たな視点をご提供出来るものと存じます。多くの皆様のご参加をお待ち致します。

お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科准教授（ピアノ）小坂圭太

コンセプト

タイトルの「ナレッジマネジメント力」には、2つの意味合いが込められています。

一つには、近年注目されているナレッジマネジメントの語義にある、暗黙知の集積と可視化、そして共有化という考え方による力です。元々、芸術、特に舞台芸術の制作には暗黙知や不文律に拠るところが多いのはいうまでもありませんが、人々のものの考え方が多様化・相対化している昨今、何をどの様に、かつどの程度顕在化・可視化を図るかということは、今までにも増して常に検討し実践していくべき課題だと思われまます。

いま一つは、「アートマネジメント」の定義（劇場、音楽堂等の文化施設、美術館・博物館・図書館等、文化芸術団体等において、芸術家の創造、文化芸術を享受する鑑賞者を中心とする地域社会、及びそれらを支えるリソースとの連携・接続を図ることにより、文化芸術の作り手と受け手をつなぐ役割を指す）に於ける「アート」をそのまま「ナレッジ」に置き換えた、謂わば「意図的な誤読」の考え方による力です。即ち、芸術のみならず知的所産全般に於ける生産～享受のプロセスのアートマネジメント的手法の応用と、アート(芸術)を知的所産の一部としてマネージするアート(技法)、という相互補完的イメージを持った柔軟な発想に拠る文化芸術の活性化を目指しています。

プログラムのキーワードは、「現場主義」と「学際性」です。講義や演習の講師陣には、一流音楽家及び著名なホールや組織の学芸員やプロデューサーから、現場の前線で働く若手までをお迎えします。コンサート制作などの実習は国際的に活躍する現代音楽アンサンブルである「アンサンブル・ノマド」との連携により行われます。また、総合大学であることから、美術・哲学・演劇など近接する他分野はもちろん、子供向けプログラムに関わる部分で発達臨床、心理学、情報科学分野の教員もプログラムに参画しております。そして、小回りが利く組織に、優れた人材、ソフト、スキルが集まることにより各々に+αの価値が加えられ発信されてゆく「知的ハブとしての大学の形」を提唱していきます。

そしてもう一つ大きな提言として、文化芸術推進に於ける「批評」プロセスの事業サイクルへの組み込みがあります。この問題を様々な角度から検証すべく、3箇所、相互に関連性のあるテーマによるシンポジウムが開催されます。

音楽コースからの提言なのでテーマは音楽中心ですが、プログラムとしては、ある分野の専門性を多様な角度から見ることによりおのずから浮かび上がる汎用性、ということを念頭に構成されております。沢山のプログラムの中からお一人お一人が文脈を発見され、独自のカリキュラムを構築してユニークな学びを実践していただければ、企画者としてはこれに勝る喜びはありません。

プログラム概要

①アートマネジメント研究

A【アートマネジメント特別講義】

業界の第一線で活躍中の講師による講義

(詳細は3頁へ)

B【アートマネジメント特別演習】

本学教員、若手OG、アーティストによる演習

(詳細は4頁へ)

②アートマネジメント実地研修

コンサート・アウトリーチ/ワークショップ実習

現代音楽アンサンブルによるコンサート、アウトリーチ/ワークショップ活動の実施に伴う研究、及び本公演での企画・制作・広報に係る研修

(詳細は5頁へ)

レポート実習

受講した題材に基づく、広報誌的な視点をもったレポート作成に係る研修

(詳細は5頁へ)

③シンポジウム・特別講演

シンポジウム シリーズ「批評：その文化芸術活動に於ける力」

芸術を知的文化の文脈に位置づける「批評/評価」に係るシンポジウムの参観

(詳細は6頁へ)

中村桂子氏 特別講演

JT 生命誌研究館館長の中村桂子氏による特別講演の参観

(詳細は6頁へ)

プログラム履修について

①アートマネジメント研究より

- ◆A【アートマネジメント特別講義】及びB【アートマネジメント特別演習】から各々**4時限**以上、かつ総時限**10時限**以上を選択し受講して下さい。(1時限は45分間です)

②アートマネジメント実地研修より

- ◆コンサート制作実習、もしくはアウトリーチ/ワークショップ制作実習のいずれかを選択しご参加下さい。
- ◆受講した題材に基づくレポートをご提出いただきます。

③シンポジウム・特別講演より

- ◆シンポジウム、および特別講演をご参観下さい。(可能な限り、双方のご参観が望ましいです)

以上の研修プログラムを修了された方には、修了証をお渡し致します。応募要領につきましては7頁をご覧ください。

※ A【特別講義】、B【特別演習】、シンポジウム、特別講演は「公開講座」として単独での**聴講**も可能です。

※ コンサートは観客としての一般来場も可能です。(チケット料金：全席自由 一般2,000円 / 学生1,000円)